

木質材料環境対策対話型視察ツアー

主催：(株)木構造計画

協賛：(株)アルファフォーラム

日程：10月9日～10月16日

費用：498,000円(税込)

※旅券抜き(現地集合・解散)は298,000円(税込)



はじめに

今現在日本では3月11日に発生した東北地方大震災によって引き起こされた福島原発事故に揺れています。そんな中ドイツのメルケル首相は脱原発を掲げ、ドイツ・オーストリアでは再生エネルギーを重視する方針を打ち出しました。当然この発言には裏付けがあり、再生エネルギー技術、特に木質バイオマスを用いた技術に関してオーストリアは突出した技術を誇ります。オーストリアでは木材のカーボンニュートラルという考え方の元、上手に木材を利用する術を知っているのです。それに対して日本では木質バイオマスと言ってもまだ知名度、実績ともに低く、政府も対応が遅れているのが現状です。今回の企画はまだ日本に浸透していない木質バイオマス利用の可能性を深く学び、木材を効率良く活用していくためのノウハウを学ぶことを目的としています。

Einführung

Japan hat jetzt ein Problem von Unfällen von Kernkraftwerken in Fukushima Tohoku Erdbeben, das am 11. März stattgefunden verursacht worden. Deutsch Bundeskanzlerin Angela Merkel hat versprochen, sich von Kernkraftwerken in Deutschland und Österreich entschieden, sich auf Politik für erneuerbare Energien konzentrieren. Österreich Technologien für erneuerbare Energien, hat über die beste Technologie für Holziger Biomasse-Technologie. In Österreich, wissen Sie, die Idee der klimaneutralen Holz. Holz-Biomasse zu sagen, dass Japan, das bereits niedrige sowohl Bekanntheitsgrad Leistung, Unterstützung der Regierung verzögert wurde. Dieses Projekt untersucht das Potenzial von Holz-Biomasse noch wenig in Japan bekannt ist, ist das Ziel, das Wissen zu lernen, auch weiterhin Holz effizienter zu nutzen.

ツアーの内容

今回のツアーはオーストリア林業から見る木質バイオマスを中心とした自然エネルギー環境の視察や、環境を配慮したエコ住宅地域の視察になります。オーストリアは古くから林業が盛んであり、現在では欧州のバイオマス利用先進国になっています。豊かな森林資源を上手に利用し、良質な材木を生産するとともに、廃材、間伐材等の木質バイオマスを燃料とする地域熱供給システムの実現にも成功しております。日本国内でも製材所、プレカット工場等から出る材木の廃材処理はもとより、環境保全意識の向上と共に、再生エネルギーであるバイオマス利用の動きがますます高まっています。本ツアーでは木質バイオマスに焦点を当て、木材がどのようにして有効利用されているのかを実際に森から木を伐採するところから順を追って見学・ディスカッションをすることをテーマとした視察内容になります。ツアー後半では再生エネルギーを活用した地域暖房を積極的に推進している町やボイラー業者を視察します。各業者や地域担当者のレクチャーを受けながら、再生エネルギーの活用だけでなく、オーストリアの住宅事情、材木の使い方など普段日本に居ただけでは聞けない様々なことを学んでいこうという視察内容になります。

視察場所



○ AUSTROFOMA2011 <http://www.austrofoma.at/>

(オーストリア最大の林業機械実演展示会)

- ・ タワーヤーダーによる斜面での木材収穫現場見学
- ・ 大型チップパーの実演見学
- ・ ヨーロッパ各国の様々な伐採・運搬機材の見学
- ・ 担当者とのディスカッション
- ・ 林業関係者・バイオマス学者による講演
- ・ 歓迎レセプション



○ **マイヤーメルンホフ製材所** <http://www.mm-forst.at>

(オーストリア大手の製材所)

- ・ 製材所見学
- ・ 地域熱供給施設 ORC プロセスによる近隣地域へのバイオマス熱供給
- ・ 木質ペレット製造工場
- ・ 担当者とのディスカッション



○ **地域暖房活用の町を視察**(現在 Hitzendorf・Gleinstaettenと調整中。)

- ・ 地域暖房施設を見学
- ・ バイオマス熱エネルギーの有効な使い方を学ぶ。
- ・ 担当者とのディスカッション



○ KWB 社 <http://www.kwb.at>

(オーストリアを代表する大手ボイラーメーカー)

- ・ 木質ペレット・チップ等の小型バイオマスボイラーメーカー
- ・ 製材所、プレカット工場で使用できるボイラーを見学
- ・ 担当者とのディスカッション

※ 各視察場所は現在日程調整中であり、変更になる可能性があります。

視察場所の説明とテーマとの整合性

最初の視察では AUSTROFOMA2011 というオーストリア最大の林業のフェスティバルに参加します。内容ですが、昼間は林業機械実演展示会、夜は参加歓迎レセプションが用意されています。日本では見ることのできない最新のタワーヤーダー、大迫力の巨大チップパーなどの実演を見ることができます。夜は修道院にて歓迎レセプションが行われ、バイオマスの研究者や大学教授による講演会も同時に行われます。このフェスティバルには世界中の林業関係者が訪れるため、意見交換や世界の林業を理解する上で最も適している会場だと思います。

次の日はマイヤーメルンホフ製材所視察(予定)になります。山奥から木材を回収し製材する所から各種加工、建材に、木質ペレットに、精製チップに、そして最終的にバイオマスエネルギーへと使われていくまでの過程を見ていただきます。マイヤーメルンホフ製材所はオーストリア第 2 の都市グラーツ南部に位置します。オーストリア有数の大きな製材所であり、約 3 万ヘクタールの私有林から年間 100 万立方メートルの木を切ります。この会社では山間部からの木の輸送から木質ペレット、チップに加工するまでの過程を終日見学します。日本の製材所、プレカット工場でも廃材処理は大きな問題となっていますが、ここでは抜根後の根っこや木の皮などの廃材を有益な木質ペレット、粉碎チップに変わっていく過程をご覧になることができます。

ツアー後半は地域暖房施設やボイラーの視察になります。実際日本での活用も考え、参考になるように 50 世帯から 100 世帯ぐらいの規模をどのような施設で、どれぐらいのエネルギー・コスト効率で整備されているのかを見に行きます。同時に木質ペレットやチップを運ぶ車なども参考に見る予定です。オーストリアでは各地方の町に常備されているのが普通ですが、訪れる町は当日の現場担当者の都合等ありますので今のところ未定です。

最終日は木質バイオマスボイラー製造会社大手 KWB 社を視察します。独自の技術で開発したボイラーを大規模製材所で使用する大きいものから家庭に置けるような小さなものまで多数製造していますので今後自社にどのような機械を入れてどのような処理をしていくのかの参考にいただければと思います。(株)木構造計画の考え方はこれからの廃材処理は廃棄物処理施設に買ってもらうのではなく、自分たちの手で木質ペレット・チップ等に精製、そして電力や熱に変換して自社使用または電力会社等に販売していくというカーボンニュートラルを根本とした次世代の木材処理方法を提唱しています。

本ツアー最大のメリットは従来型の企業現場視察、レクチャーに加え、事前に参加者の皆様から現地担当者に聞いてみたい質問を受け付けて先方に事前に伝え、ディスカッションをしながら「本当のところはどうなの？」といった本音を聞き出そうという「対話型視察」である事です。ホームページやただ資料を見せられて終わりの研修では分からない現場の本音を聞きたいと思いませんか？エコや木材の分野で世界をリードするオーストリアの企業の本音を皆様一緒に聞きに行きましょう！

ご旅行条件

- 旅行期間 : 10月9日～10月16日
 - 旅行代金 : 498,000円(税込) 旅券なし298,000円(税込)
 - 募集人数 : 13名様(最少催行人員5名様)
 - 利用予定航空会社 : 全日空、オーストリア航空等
 - 利用予定ホテル : 未定
 - 締め切り : 8月26日金曜日18:30まで(場合によって追加申込可能。)
 - 責任者 : 小林靖尚 (株)木構造計画 取締役社長)
 - 集合場所 : 10月9日8:00 成田国際空港第2ターミナル(現地9日夜グラーツ空港)
 - 解散場所 : 10月16日10:00 成田国際空港第2ターミナル
- ※集合場所、解散場所、及び途中参加の集合場所等詳しい情報は決定次第お伝えいたします。

○参加費用に含まれているもの

- ・ 飛行機チケット(成田⇄オーストリアエコノミークラス往復分)
- ・ 燃料サーチャージ(価格変動するため通常含まれませんが今回は参加費に含まれます。)
- ・ 朝食付き宿泊代金(2～3人一部屋が基本になります。)
- ・ 移動費(レンタカー代・ガソリン代)
- ・ 団体行動中のチップ等
- ・ 機内手荷物運搬料(お一人様20kgまで)
- ・ 視察見学先手配連絡費用
- ・ AUSTROFOMA 入場料
- ・ 通訳・ガイド費用(2名の通訳が同行します。)

○参加費用に含まれていないもの

- ・ 渡航手続諸費用(パスポート取得費用など)
- ・ 現地夕食・飲料費用
- ・ その他個人的な経費(別行動費用、電話代やレストランでのチップなど)
- ・ 超過手荷物料金(お一人様20kgを超過した分のお支払い)
- ・ 出発前・到着後の日本国内移動宿泊経費
- ・ 海外旅行保険

○キャンセル料について

- 受付開始から9月2日金曜日18:30まで……………キャンセル料はかかりません。
- 9月2日金曜日18:30以降9月22日木曜日18:30まで…参加費用の40%
- 9月22日木曜日18:30以降から当日まで……………参加費用の80%
- 当日後のキャンセル及び無断キャンセル……………全額負担

○オプション

- ・ ファーストクラス・ビジネスクラスご希望の方は別途ご相談ください。
- ・ 一人部屋ご希望の方、通常参加費用+50,000 円で承ります。
- ・ 途中合流・途中帰国の場合は別途ご相談ください。
- ・ 早期予約はチケット等の割引の関係上、通常より低価格にてご案内可能となります。

○お申込方法

申込用紙に必要事項をご記入の上、8月26日までに下記宛てにメール、郵送またはFAXにてお送りください。参加費用の振込先等はお申し込み後にお伝えいたします。

(株)木構造計画

〒101-0053

東京都千代田区神田美土代町 11-8 SK 美土代町ビル 8F

TEL:03-6273-7238 FAX:03-6273-7237

<http://www.mokukozo.co.jp>

担当 : (株)木構造計画 栗山太樹 kuriyama@mokukozo.co.jp

(株)アルファフォーラム 小林靖尚 kobachan@a-forum.jp

(株)アルファフォーラム 山口大祐 daisuke@a-forum.jp

(連絡等、お急ぎの場合は090-1467-2216 小林までお願いいたします。)

○企画担当者プロフィール



栗山太樹 (プロスキーヤー・SAJ ナショナルデモンストレーター)

幼少の頃からスキーを始め数々のレースで活躍、高校卒業後オーストリアにて6年間のスキー留学を経験。帰国後もスキーを続け、現在全日本スキー連盟ナショナルデモンストレーター2期目を務める。(株)木構造計画の社員であると同時に現役の基礎スキー日本代表選手である。

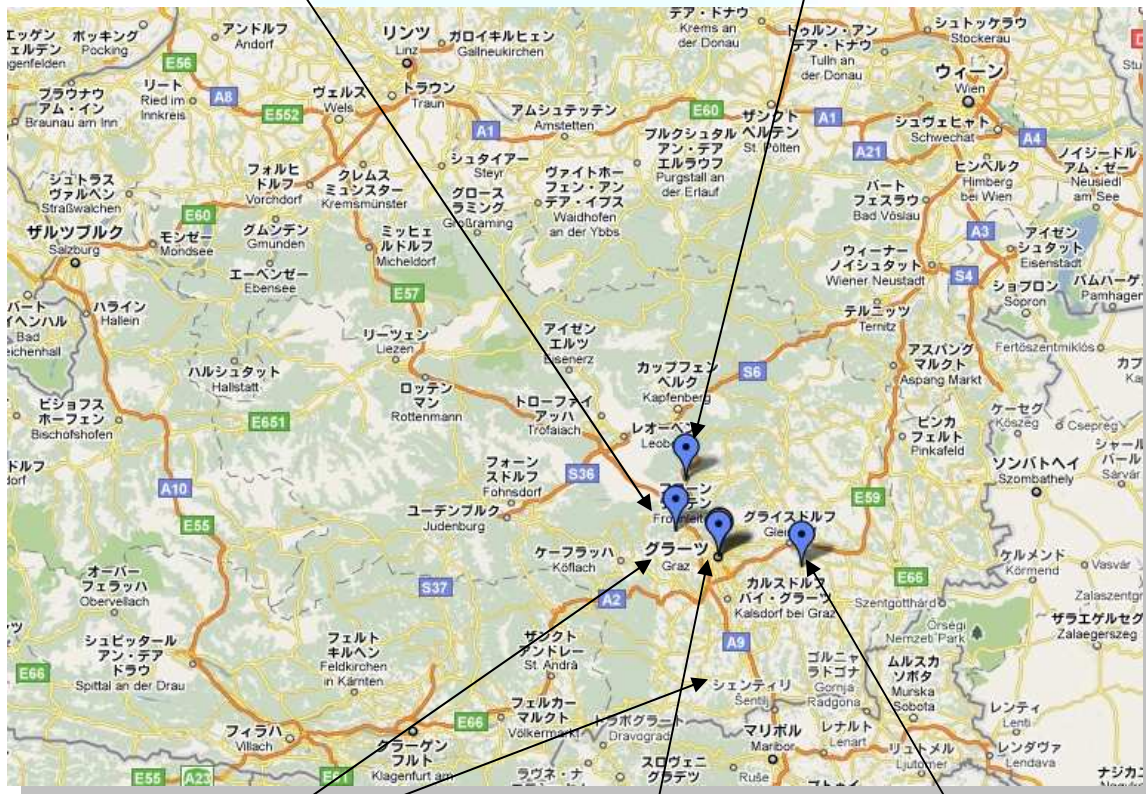
今回のツアーにももちろん帯同。視察先が主に留学先であったオーストリアということで「地元の利」を活かし通訳はもちろん、皆様を安全・安心・全力でサポート、アテンドいたします。

現地地図と施設の場所

AUSTROFOMA2011



マイヤーメルンホフ製材所



Hitzenorf・Gleinstätten



グラーツ旧市街



KWB 社